



一般社団法人日本スーパーマーケット協会

平成29年12月 マンスリー レポート

集計企業数 55 社

① 売上高・前年同月比

| | 全 店 | | | 既 存 店 | |
|-------|---------------|---------------|-----------------|---------------|-----------------|
| | 売上高 | 構成比(前月) | 前年同月比(前月) | 売上高 | 前年同月比(前月) |
| 総 額 | 66,762,457 万円 | 100.0% | 102.6% (101.9%) | 64,598,835 万円 | 101.0% (100.0%) |
| 食 料 品 | 55,898,967 万円 | 83.7% (83.6%) | 102.9% (101.8%) | 54,145,290 万円 | 101.2% (100.0%) |
| 農 産 | 8,226,905 万円 | 12.3% (12.1%) | 105.4% (96.3%) | 7,973,193 万円 | 103.7% (94.7%) |
| 水 産 | 5,788,017 万円 | 8.7% (7.6%) | 102.2% (101.8%) | 5,599,979 万円 | 100.4% (99.8%) |
| 畜 産 | 7,154,969 万円 | 10.7% (11.3%) | 104.3% (105.6%) | 6,919,812 万円 | 102.4% (103.4%) |
| 惣 菜 | 6,391,415 万円 | 9.6% (9.5%) | 103.1% (102.5%) | 6,164,860 万円 | 101.0% (100.2%) |
| 日配食品 | 12,126,232 万円 | 18.1% (18.8%) | 102.2% (101.6%) | 11,747,628 万円 | 100.5% (99.9%) |
| 加工食品 | 16,211,429 万円 | 24.3% (24.3%) | 101.8% (103.0%) | 15,739,819 万円 | 100.3% (101.3%) |
| 生活関連 | 4,535,464 万円 | 6.8% (6.7%) | 101.3% (101.2%) | 4,428,426 万円 | 100.3% (100.1%) |
| 衣 料 品 | 2,010,592 万円 | 3.0% (3.5%) | 100.9% (101.0%) | 1,961,818 万円 | 101.1% (100.2%) |
| そ の 他 | 4,317,435 万円 | 6.5% (6.2%) | 100.9% (104.1%) | 4,063,300 万円 | 99.2% (100.2%) |

② 数 値

| | | | |
|--------|----------------------------|-------|-----------|
| 全店総売上高 | 66,762,457 万円 | 店 舗 数 | 4,728 店舗 |
| 総売場面積 | 9,478,897.5 m ² | 総従業員数 | 251,728 人 |

| | | | |
|-------------------------|-------------------|------------------|------------------------|
| 店舗平均月商 | 14,120.7 万円 | 平均客単価 (前年同月比) | 2,076.7 円 (100.8%) |
| 月間m ² 売上(前月) | 7.0 万円 (5.9 万円) | 平均店舗面積 | 2,004.8 m ² |
| 月間坪売上(前月) | 23.3 万円 (19.4 万円) | パート比率(前月) | 78.2% (78.0%) |

注) 総従業員数…パート・アルバイト数は、8時間換算しています

《 全体概況 》

- ・ 12月の天候は、全国的に気温が低く、北・東日本日本海側では大雪となる時期があった
- ・ 生鮮品の相場状況は、農産が10月の天候不順の影響により、野菜・果実ともに高値で推移した。水産物においては市場への入荷量が少ないため高値が続き、畜産物においても和牛や国産の豚肉、鶏むね肉の高値が続いている
- ・ 23日の祝日が土曜日と重なり、24日のクリスマスイブが日曜日に当たる曜日廻りであった

《 商品動向 》

○ 農産

- ・ 野菜は相場高の影響による販売価格の高騰により、「半切り」や「1/4切り」、「カット野菜」が好調であった
- ・ 「じゃがいも」は相場安による販売価格の下落により、売上が不調であった
- ・ 果実は旬の「みかん」や「いちご」が概ね好調、その他「カットフルーツ」が好調であった
- ・ 「りんご」や「かき」は相場安による販売価格の下落により、売上が不調であった

○ 水産

- ・ 水産の既存店売上が17カ月ぶりに前年をクリアした
- ・ 旬の「ぶり」が好調であった。その他では生食関連が概ね好調であった
- ・ 歳末関連では「かに」が価格高騰も好調、「数の子」も概ね好調であった
- ・ 水産全体の売上は回復傾向も、不漁による入荷量減少や相場高など、依然として厳しい販売環境が続いている

○ 畜産

- ・ 豚肉、鶏肉は好調を維持した一方、牛肉が相場高の影響による販売価格の高騰により、好不調が分かれる結果となった
- ・ 鍋商材以外では、「牛ステーキ用」やローストビーフ用途としての「ブロック肉」が好調であった
- ・ クリスマスメニューとしての「骨付き鶏肉」は概ね好調であった

○ 惣菜

- ・ 野菜価格の高騰により「サラダ」が概ね好調であった一方、「ポテトサラダ」は未だ売上回復に至っていないとのコメントが見受けられた
- ・ 冬休みの昼食・簡便ニーズにより「弁当」「米飯」や「スナック類」が好調であった
- ・ 水産売場で販売している「寿司」や水産素材を原料とした「寿司」が好調であったとのコメントが見受けられた

○ 日配・加工食品

- ・ 野菜価格の高騰により「冷凍野菜」や「漬物」が好調であった一方、サラダ関連商材の「マヨネーズ・ドレッシング」は不調であった
- ・ 寒い日が多かったため「おでん」や「鍋」関連商材、「即席めん」や「スープ類」が好調であった。「飲料」は不調であったが、「アイス」は新商品の取り組みにより好不調が分かれる結果となった
- ・ テレビ番組の影響や健康志向の高まりにより、「納豆」「豆腐」の好調が続いている
- ・ 昨年不調の反動により「缶詰」が好調であった
- ・ 昨年好調の反動により「ヨーグルト」「ヨーグルト飲料」や「甘酒」が不調であった

○ 「お歳暮、クリスマスケーキ・おせちなどの予約販売」の状況について

- ・ お歳暮は「名産」や「産地直送」などプレミアム感があるギフトが好調であったが、全体としては贈答需要の縮小により、売上は減少傾向である
- ・ クリスマスケーキの予約販売は前年を下回る結果が多かった
- ・ おせちは、手作りからセット物の購入にシフトしているため、予約販売は好調であった

○ 「クリスマス」の状況について

- ・ 23日の祝日が土曜日と重なり、24日のクリスマスイブが日曜日であったため、商品の動向は週末に集中した
- ・ 「ローストチキン」や「フライドチキン」は概ね好調であった
- ・ 「オードブル」や「シャンメリー」「ブーツ菓子」は不調であったとのコメントが見受けられた
- ・ 曜日廻りの影響により、例年と比較し「寿司」が好調であった

○ 「歳末マーケット」の状況について

- ・ ごちそうメニューでは「寿司」と「かに」が好調であった
- ・ おせちの手作り素材や材料、その他「注連縄」や「鏡餅」といった年末年始の関連商材が不調であった
- ・ 年末商戦の最盛期に人手不足が顕在化し、供給不足によるチャンスロスが発生したとのコメントが見受けられた

以 上